

授業科目 成人看護技術	区分・教育内容		
	専門分野Ⅱ 成人看護学		
授業担当者 中川 郁子 堀 裕美	開講時期	単位数	時間数
	前期	1 単位	30 時間
授業の目的 成人期における看護実践の基礎となる能力を養う。			
授業の目標 1. フィジカルアセスメントの方法がわかる。 2. 看護過程のアセスメントの仕方を習得する。看護実践の根拠となる看護計画が立案できる。 3. スタンダードプリコーションの原則に沿って、人体からの真空採血ができる。			
授業概要 技術演習においては、「何のために、どのように行い、正常所見はどのようなものであるか」といったフィジカルアセスメントの知識を確認し、フィジカルイグザミネーションの理解を深める。また、人体からの真空採血の技術を習得する。これを通して、技術に自信を持ってほしい。 看護過程の演習においては、成人看護学領域で重要な既習学習の知識を活用しながら、多角的にアセスメントができる基礎能力を養う。知識を活用して科学的な根拠を明らかにし、患者の全体像を描き、看護計画を立案するプロセスを学ぶ。			
授業計画（進め方） 1 回目 フィジカルアセスメントとは、フィジカルイグザミネーションとは 2 回目 看護過程についての課題の取り組み 3～5 回目 看護過程演習（グループワーク） 6 回目 看護過程演習 交流会 7～8 回目 シミュレーションでのフィジカルアセスメント演習 9 回目 真空採血のガイダンス 10～11 回目 技術演習：真空採血の練習① 12～13 回目 技術演習：真空採血の練習② 14～15 回目 技術試験：真空採血の実際			
テキスト 看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント 第1版 メディックメディア			
参考書・指定図書 山口瑞穂子・関口恵子監修 疾患別看護過程の展開 学研 ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 メディカ出版 看護技術プラクティス 第4版 学研			
評価の方法 技術試験および課題、取り組み態度、提出物、出席状況などを総合して評価する。			